

今年度の入学者選考結果は下記の通りとなりました。

**概況**

募集定員	20
志願者数	28
合格者数	16
志願倍率	1.4
合格者平均点 (5教科 250点満点)	159.4
受検者平均点 (5教科 250点満点)	138.9

※志願者に青翔開智中学校からの内部進学者は含みません。

※合格者平均点・受検者平均点は「学力検査」の結果に基づくものです。

実際の合否は、学力検査・面接検査（個人面接・書類審査 [資格・検定取得者優遇]）を合わせた総合判定です。

**学力検査 詳細**

科目/配点	国語/50	数学/50	社会/50	英語/50	理科/50	合計/250
受検者最高点	37	39	49	46	39	210
受検者最低点	11	7	12	11	6	51
受検者平均点	24.3	22.5	32.1	34.2	25.8	138.9

※上記は令和2年1月17日（金）実施の「学力検査」結果に基づく数値です。

**出題方針**

本校の学力検査は「学んできた知識をどのように活かすか」という点を重視して出題しています。問題文を適切に理解する力、持っている知識を組み合わせる創造する力、読み手を意識しながら表現する力を試しています。単なる知識の詰め込みや暗記のみではなく、「自分ならこの状況でどうするのか？」を意識しながら学習に取り組みましょう。

**国語**

国語の入試問題は、鳥取県の県立高校入試と同じ構成で作問しています。【問題1】から【問題4】の問題では、文章の読み取りを出題しています。どの問題についても、先入観や感情移入によって解くのではなく、客観的に本文を読んで解くことを意識してください。【問題5】の作文では、問いが要求しているとおりの内容で過不足なく解答できているかを見えています。探究基礎修了論文の執筆においても資料を正しく読み取りまとめる力は不可欠です。第三者の添削を受け、しっかりと記述力をつけて欲しいと考えています。

## 数 学

構成は5題で、難度は標準です。基礎的な計算問題に加え、'有理数'や'平行'などの言葉の意味を理解しているかが重要になる問題を出題しています。また、規則性を見つけ、数式で表現する、数学を使うことを意識した問題も出題しています。【問題5】は、発展的な内容ではありますが、問題文中に計算方法の記載があり、教科書を読む力があれば答えを求めることができます。言葉を正確に理解する習慣をつけていただきたいです。

## 社 会

昨年同様、地理・歴史・公民全分野からの出題となります。一問一答問題・記述問題ともに図表や資料を手掛かりに解答する問題が多く、言葉の意味だけでなくその背景まで考える力が必要となります。昨年と同様に、【問題4】のような初見の資料から推測する思考問題も出題しています。また、【問題3】(5)では「Fintech」をテーマとし、実生活やニュースで扱われる身近な事柄への関心の度合いを見えています。単語とその意味だけでなく、全体を俯瞰した上で一つひとつの出来事の意味合いを捉える「大きな視点・流れ」を意識して学習してほしいと考えています。

## 英 語

鳥取県の県立高校入試に準じた構成で作問しています。基本的な文法知識・語彙力・読解能力を身につけていることが大切です。長文では英文読解力だけでなく、グラフや表を読み取って計算をし、答えを導き出す問題も出題しました。【問題6】は与えられたテーマに関して英作文をする問題です。「どこで」「なぜ」「最低 30 語」など、問題文の指示に従って必要な情報を踏まえて英文を書くようにしてください。

## 理 科

【問題1】から【問題7】は中学校理科で学習する内容について、基本的な知識を問う問題を多く出題し、さらに各問題に理科の学習を支える力である計算力を問う問題も合わせて出題しました。また、本校で行う探究活動においては実験方法を自ら考える機会が多くあります。そのため、【問題8】では与えられた実験方法を修正することで、対照実験を設定する意味の理解や、比較可能なデータ収集のために必要な測定方法を適切に理解できているかを問いました。